

新 除 草 ・ 調 節 剤

クサホープ[®] 粒剤

ピラゾレート・プレチラクロール粒剤

(取扱メーカー) **クミアイ化学工業株式会社**
三 共 株 式 会 社

対象作物：移植水稻。

成分・作用特性：本剤は、4-(2,4-ジクロロベンゾイル)-1,3-ジメチル-5-ピラゾリル-p-トルエンスルホネート……ピラゾレート6%と2-クロロ-2',6'-ジエチル-N-(2-プロポキシエチル)アセトアニリド……プレチラクロール1.5%を含有する類白色の細粒である。

本剤は、ピラゾレートが水田中で加水分解を受けて変化したデストシルピラゾレート……DTPによるクロロフィル(葉緑素)の生成を阻害する作用とプレチラクロールの生育抑制(阻害)作用との相乗効果によって雑草を枯殺する。その作用がもっとも強力に現われ、十分な殺草効果を得るには、雑草の発芽時期に処理され、適切な水管理によって、DTPを田面水中で、有効濃度にある期間保っておくことが重要である。

特徴：①水田一年生雑草からマツバイはもとより、防除困難な雑草といわれるウリカワ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロなどの各種多年生雑草に優れた殺草効果を示す。②雑草の発生前から発生初期の処理で極めて強力な殺草力を示し、広範囲の雑草を長期間防除する。したがって、適地・適期・水管理を守ることによって、初期一発処理剤として使用できる。③通常の使用条件では、水稻に対し

て安全性が高い。④人畜に対する毒性は低く、魚介類に対して危険も少なく、環境におよぼす影響が少ない。

毒性：急性経口毒性は普通物、魚毒性はB類である。

使用方法：雑草の発生前から発生初期の散布が有効であるが、優れた除草効果を発揮させるには、代かきから田植えまでの期間はできるだけ短くし(3日間程度)、田植え後3日から5日までに使用すること。

使用上の注意：①極端な浅植えや深植えにならないように、田面を均平にして高低がないようにする。②散布は通常の湛水状態で行ない、散布後5日間は3~5cm程度の湛水深を保ち、田面の露出はさけること。③砂質がかった水田や水持ちの悪い水田(減水深2cm/日以上)、畦畔から漏水の多い水田、かけ流し水田では使用しないこと。

ヨートル[®] 粒剤

ナプロアニリド・プレチラクロール粒剤

(取扱メーカー) **武田薬品工業株式会社**

対象作物：移植水稻。

成分・作用特性：本剤は、 α -(2-ナフトキシ)プロピオンアニリド……ナプロアニリド7.0%と、2-クロロ-2',6'-ジエチル-N-(2-プロポキシエチル)アセトアニリド……プレチラクロール2.0%を有効成分とする粒剤である。

ナプロアニリドは、そのままの形あるいは分解生成された α -(2-ナフトキシ)プロピオ

新 除 草 ・ 調 節 剤

ン酸……NOPの形で、雑草の根部および茎葉部から吸収され、NOPとなって雑草体内の正常なホルモンの働きを攪乱し、枯殺あるいは生育を抑制する。また、プレチラクロールは、雑草の幼芽部および幼根部より吸収され、タンパク質の生合成を阻害することによって幼小雑草を枯殺する。本剤は、この2成分の共力作用によって、広範囲の雑草に対して高い殺草力を示し、長期間にわたって安定した除草効果を示す初期一発処理剤である。

毒性：ラット（雄）に対する急性経口毒性値（LD₅₀）は、ナプロアニリドが15000mg/kg以上、プレチラクロールが3600mg/kgと低く、ともに普通物である。また、コイに対する魚毒性値（TLm 48h）は、ナプロアニリドが3.4ppm、プレチラクロールが2.17ppmでB類である。

使用方法：本剤は、田植後3日～ノビエの1.5

葉期までに散布する。ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリが発生する水田では、それら雑草の発生始期（田植後3～5日頃）に、ウリカワの発生する水田ではウリカワの発生始期～2葉期（田植後5～7日頃）に散布する。本剤は1回の散布で十分な効果を発揮するが、雑草の発生が長期にわたる地域では、必要に応じて体系処理するとより効果的である。

使用上の注意：①田面を均平にし、極端な浅植えや浮苗にならないようにする。②通常の湛水状態（水深3～5cm）で均一に散布し、散布後3～4日間は止水にして、落水、かけ流しをしない。③漏水の大きな水田（減水深2cm/日以上）、砂質土壌の水田では使用しない。④漏水の多い水田で、冷水条件が加わると薬害が助長されるので、山間冷水地帯などでは使用しない。

植 調 協 会 だ よ り

◎ 第20回評議員会開催す

昭和59年9月26日（水）、植調会館3階会議室において、評議員115名中73名（委任状を含む）出席のもとに開催し、谷口譲氏（八洲化学）が議長に選任され、①昭和60年度評議員会費について、前年通りの算定基準を用いることとして審議の結果、原案通り可決された。②報告事項として、昭和58年度事業および収支決算、剰余金処分、昭和59年度事業計画および収支予算、植調研究所水田用地購入、当協会設立二十周年記念式典開催について報告され終了した。

◎ 会議開催日程のお知らせ

昭和59年度水稲・畑作関係除草剤および普及適用性（展示圃）試験成績地域別検討会

地域名	部門	日 時	場 所
北海道	水稲	11/13(火) 930～1700 14(水) 900～1200	〒080 帯広市西3南7 十勝農協連合会館会議室(3F) Tel 0155-24-2131
	畑作	13(火) 930～1700 14(水) 900～1200	
東北・北陸	水稲	11/6(火) 930～1700 7(水) 830～1200	〒910-41 福井県坂井郡芦原町温泉3丁目「清風荘」会議室 0776-77-2500
	畑作普及	6(火) 930～1700 7(水) 900～1200	
関東～東海	水稲	11/1(木) 930～1700 2(金) 900～1200	〒509-22 岐阜県益田郡下呂町湯之島801旅館会館会議室 05762-5-2064
	畑作普及	1(木) 930～1700 2(金) 900～1200	
近畿～四国	水稲	11/20(火) 930～1700 21(水) 830～1200	〒520-02 滋賀県大津市堅田1-21-1「名鉄マリナーホテル」会議室 0775-73-1111
	畑作普及	21(火) 930～1030 21(水) 1030～1500	
九 州	水稲	11/27(火) 930～1700 28(水) 900～1200	〒812 福岡市博多区網場2-2 福岡第1勧業ビル内7F 三鷹ホール会議室 092-291-8366
	畑作普及	27(火) 930～1700 28(水) 900～1200	